



# Fiery JobFlow Pro のヘルプ

© 2026 Fiery, LLC. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2026年2月8日

# 目次

Fiery JobFlow Pro	5
Fiery JobFlow Pro のインストール	6
Fiery JobFlow Pro ライセンスのアクティベート	6
Fiery JobFlow Pro の設定	7
アカウントの設定	7
ライセンス情報の表示	7
テクニカルサポートへの連絡	8
表示設定の変更	8
Fiery JobFlow Pro からのサインアウト	8
Fiery JobFlow Pro を使用する	9
Fiery JobFlow Pro ワークスペース	9
ホームタブ	10
フロータブ	10
ジョブタブ	10
場所タブ	12
サービスタブ	16
設定タブ	17
JobFlow Pro Editor を使ってワークフローを作成する	19
Fiery JobFlow Pro Editor の再起動	19
JobFlow Pro Editor を開く	19
JobFlow Pro Editor のワークスペース	19
ワークフローを作成	20
ワークフローの展開	23
ワークフローの削除	23
Fiery JobFlow Pro のトラブルシューティング	24



# Fiery JobFlow Pro

Fiery JobFlow Pro は、さまざまなノードを接続して、タスクを自動化することでワークフローを作成するプラウザベースのプリプレスワークフローソリューションです。ページの結合、複製、分割などのツールや、その他のコアなプリプレス機能を含むノードセットを使ってカスタムワークフローを設計できます。

AIアシスタントを統合してワークフローを強化し、自動化ツールを導入して問題を解決できます。

Fiery JobFlow Pro には、プライマリ管理者用のライセンスと有効な Fiery アカウントが必要です。

Fiery JobFlow Pro には無料の 30 日間および 90 日間のトライアル期間が用意されています。トライアル期間終了後は、Fiery JobFlow Pro のライセンスアクティベートが必要です。

# Fiery JobFlow Pro のインストール

Fiery JobFlow Pro は Fiery Software Manager を使用してプラウザベースのアプリケーションへのデスクトップショートカットとしてインストールできます。

Fiery JobFlow Pro のインストールの詳細については、<https://www.fiery.com/jobflowpro> を参照してください。

## Fiery JobFlow Pro ライセンスのアクティベート

Fiery JobFlow Pro には、Fiery JobFlow Pro ホームページからアクティベートする必要があるライセンスが必要です。

**1** 管理者として Fiery JobFlow Pro にサインインし、**パスワード**フィールドに **Fiery.1** と入力します。

**メモ**：セキュリティ上の理由から、続行する前に管理者はデフォルトの管理者パスワードを変更する必要があります。

**2** ホームタブに表示されるウィンドウで**ライセンスの追加**をクリックします。

**3** 使用許諾契約の条件に同意する場合は、**ライセンスアクティベーション**ページで、**アクティベート**、**続行**をクリックします。

**4** ライセンスアクティベーションコード (LAC) をフィールドに入力し、**続行**をクリックします。

**5** **アクティベート**をクリックします。

**6** **完了**をクリックします。

**7** Fiery JobFlow Pro ホームページに戻り、ページをリフレッシュしてライセンス版にアクセスします。

# Fiery JobFlow Pro の設定

管理者としてサインインすると、Fiery JobFlow Pro を設定できます。

Fiery JobFlow Pro アカウントにログインすると、プロファイルが表示され、ライセンスやソフトウェア情報、サポートへのリンク、設定変更オプションを確認できます。

Fiery JobFlow Pro アカウントからサインアウトするには、**ログアウト**を選択します。

## アカウントの設定

システム管理者はプロファイルから Fiery JobFlow Pro アカウントを設定できます。

- 1** 管理者として Fiery JobFlow Pro にサインインします。
- 2** 右上隅にあるプロファイルアイコンをクリックします。
- 3** 必要に応じて、次のいずれかのオプションを選択します。
  - **ライセンス** - アクティベートされたライセンスと有効期限を表示します。必要に応じて、ライセンスをコピーしてテクニカルサポートと共有できます。
  - **サポート** - テクニカルサポートにアクセスするためのリンクを提供します。
  - **ダークテーマ** - Fiery JobFlow Pro アプリケーションの外観をダークモードに変更します。
  - **ログアウト** - Fiery JobFlow Pro からサインアウトします。

## ライセンス情報の表示

アクティベート済みの Fiery JobFlow Pro ライセンスの詳細にアクセスして確認できます。

- 1** 右上隅にあるプロファイルアイコンをクリックします。
- 2** **ライセンス**を選択します。  
ライセンスの有効期限とライセンスコードを確認できます。
- 3** 次のいずれかの理由で必要な場合は、ライセンスコードをコピーします。
  - 技術サポートからライセンスコードの共有を求められた。
  - ライセンスコードを別のユーザーに移したい。

- 4 (オプション) **アクティベート解除する**をクリックすると、ライセンスコードのアクティベートが解除されます。

**メモ:**新しいユーザーにライセンスを割り当てる前に、必ずライセンスコードのアクティベートを解除してください。

## テクニカルサポートへの連絡

Fiery JobFlow Proについて支援が必要な場合に、テクニカルサポートの連絡先情報を確認できます。

- 1 右上隅にあるプロファイルアイコンをクリックします。
- 2 連絡先情報を確認するには、**サポート**をクリックしてください。

## 表示設定の変更

Fiery JobFlow Proは、ライトモードまたはダークモードで使用できます。

- 1 右上隅にあるプロファイルアイコンをクリックします。
- 2 **ダークモード**をクリックして、Fiery JobFlow Proの外観を変更します。

## Fiery JobFlow Proからのサインアウト

セッションが完了したら、Fiery JobFlow Proからサインアウトできます。

- 1 右上隅にあるプロファイルアイコンをクリックします。
- 2 **サインアウト**をクリックします。

# Fiery JobFlow Pro を使用する

Fiery JobFlow Pro はインストール後にサーバーとして機能し、インストールの際に自動配置されるコンピューターデスクトップのショートカットからアクセスできます。

異なるクライアントコンピューターから Fiery JobFlow Pro サーバーにアクセスするには、Fiery JobFlow Pro がインストールされているコンピューターの IP アドレスまたはドメイン名が必要です。ブラウザーから Fiery JobFlow Pro サーバーに接続できます。Fiery JobFlow Pro サーバーの IP アドレスがわからない場合は、Fiery JobFlow Pro のシステム管理者にお問い合わせください。

**メモ：**インストール手順の際に、Fiery JobFlow Pro インストーラーは推奨ネットワークポート（8888）が使用できるかどうかを自動的に確認します。推奨ネットワークポートが使用できる場合は、<https://<ip address>:8888/jobflowpro/signin> を使用して別のコンピューターから Fiery JobFlow Pro サーバーに接続できます。代替ポートが選択されている場合は、URL : <https://<ip address>:8889/jobflowpro/signin> から接続できます。

## Fiery JobFlow Pro ワークスペース

Fiery JobFlow Pro アプリケーションは、ブラウザー上のウィンドウに表示されます。

メインウィンドウには、特定の Fiery JobFlow Pro 画面タブとジョブに使用できる利用可能なワークフローが表示されます。

ワークフローを追加するには、[ワークフローを作成](#)（20 ページ）を参照してください。

Fiery JobFlow Pro メインウィンドウには次の領域が含まれます。

- プロファイルメニュー - プロファイルを表示でき、ライセンスやソフトウェア情報、サポートへのリンク、設定変更オプションが表示されます。
- ワークフローウィンドウ - ジョブ処理のために利用可能なワークフローを表示します。
- サイドバー : 次のタブのボタンナビゲーションを表示します。
  - **ホーム** - 利用可能なワークフローのドロップゾーンを含みます。
  - **フロー** - Fiery JobFlow Pro Editor を使ってワークフローの表示と管理ができます。
  - **ジョブ** - ジョブの完全なリストを表示し、ジョブの管理、検索、履歴の表示ができます。
  - **場所** - ドロップゾーン、Hot Folders、Fiery サーバーなど、すべての場所を一か所で管理できます。
  - **サービス** - ChatGPT、Claude、MQTT のサービスを管理できます。
  - **設定** - プロファイル設定にアクセスし管理できます。プロファイルメニューから**設定**を選択することで**設定**タブを開くこともできます。

## ホームタブ

JobFlow Pro Editor で作成したワークフローは **ホームタブ** に表示されます。ドロップゾーンで特定のワークフローにファイルをドロップすることで、ジョブを処理できます。

ホームタブには次の領域があります。

- **ドロップゾーン** - JobFlow Pro Editor で作成した異なるワークフローでジョブを処理します。ローカルコンピューターのフォルダーからファイルを閲覧したり ドラッグしたりできます。
- **検索フロー** - ドロップゾーンを名前や説明で検索できます。

## フロータブ

JobFlow Pro Editor では、ワークフローの表示、編集、作成、管理ができます。

フロータブには次の領域があります。

- **編集フロー** - 特定のワークフロー用に JobFlow Pro Editor を開きます。
- **検索フロー** - ワークフローを名前や説明で検索できます。
- **フローの作成** - JobFlow Pro Editor を開きます。
- ダウンロードアイコン (↓) - 指定されたワークフロー用の JSON ファイルをダウンロードします。

## ジョブタブ

ドロップゾーンやホットフォルダーから追加したジョブは、表示や管理が可能です。

ジョブタブでは、ジョブに表示する情報をカスタマイズできます。以下の列ヘッダーがあります。

- **ID** - ジョブの ID を表示します。
- **名前** - ジョブの名前を表示します。
- **モジュール** - ワークフローでジョブに適用された最後のノードを表示します。
- **ワークフロー** - ジョブで使用されるワークフローの名前を表示します。
- **場所** - ジョブがドロップゾーンを使用して追加されたかホットフォルダーを使用して追加されたかを表示します。
- **状況** - ジョブの状況を表示します。
- **日付** - ジョブが処理された日時を示します。

### ジョブ情報を表示する列ヘッダーを選択する

ジョブタブウィンドウに表示される列を変更できます。

- 1 列アイコン (□) をクリックします。
- 2 列ヘッダーチェックボックスを選択またはクリアして、ジョブ情報に表示する列を選択します。

- 3 リストを閉じるには、もう一度カラムアイコン (□) をクリックしてください。

## ジョブの検索

ジョブタブでは、複数の基準（列）を同時に指定して検索できます。

- 1 テキストフィールドを含む列で、検索条件の全部または一部を入力してください。
- 2 希望するジョブ情報を表示するために、チェックボックスを選択またはクリアします。
  - **すべて** - すべてのジョブを表示します。
  - **成功** - 成功したすべてのジョブを表示します。
  - **処理済み** - 処理されたすべてのジョブを表示します。
  - **処理中** - 処理中のすべてのジョブを表示します。
  - **エラー** - エラーが発生したすべてのジョブを表示します。
- 3 日付情報を表示する列では、次の設定のいずれかを選択します。
  - **今日** - 今日処理されたジョブを表示します。
  - **過去 7 日間** - 過去 7 日間に処理されたジョブを表示します。
  - **過去 30 日間** - 過去 30 日間に処理されたジョブを表示します。
  - **過去 60 日間** - 過去 30~60 日間に処理されたジョブを表示します。
  - **過去 60 日間** - 過去 60~90 日間に処理されたジョブを表示します。
  - **90 日以上** - 90 日以上前に処理されたジョブを表示します。

## ジョブ概要の表示

ジョブの以前のアクションを日時スタンプ付きで確認できます。

- 1 目的のジョブに移動します。
- 2 表示アイコン (⌚) をクリックします。

## ジョブの表示

処理済みまたは成功状態のジョブを確認できます。

- 1 目的のジョブに移動します。
- 2 表示アイコン (□) をクリックします。

### メモ：

ジョブがエラーまたは処理中の状態にある場合、表示アイコンは無効になります。

## ジョブの削除

選択した 1 つ以上のジョブを削除できます。

1 次のいずれかの操作を行います。

- 列ヘッダー行のチェックボックスを選択して、リスト内のすべてのジョブを選択します。
- 削除するジョブの横にあるチェックボックスを 1 つ以上選びます。

2 選択したジョブを削除するには削除アイコン (trash) をクリックします。

3 表示されたウィンドウで **削除** をクリックしてください。

## 場所タブ

**場所** タブでは、ジョブ処理用のファイル入力場所を管理できます。ドロップゾーン、Hot Folders、Fiery サーバーの場所を追加、編集、削除できます。

**場所** タブには次のタブがあります。

- ドロップゾーン** - Fiery JobFlow Pro ホームタブで利用可能なドロップゾーンを表示します。
- ホットフォルダー** - 展開ワークフロー内で使用可能な Hot Folders を表示します。
- Fiery サーバー** - 展開済みのワークフロー内で使用されている利用可能な Fiery サーバーを表示します。

**メモ** : Fiery JobFlow Pro は、Windows ベースの Fiery サーバーおよび Linux ベースの Fiery サーバーで利用可能です。

- Windows ベースのサーバー : Fiery システムソフトウェア FS400 Pro 以降。
- Linux ベースの Fiery サーバー : Fiery システムソフトウェア FS400 以降 (オプションの Automation Package が必要)。

## ドロップゾーンタブ

ドロップゾーンは Fiery JobFlow Pro の **ホーム** タブにあります。ファイルをドロップゾーンにドラッグすると、ワークフローの一部としてジョブ処理を開始できます。

### ドロップゾーンの追加

ドロップゾーンを追加して、ワークフロー内のジョブを処理できます。

- 1 **場所** タブで **ドロップゾーン** をクリックします。
- 2 **ドロップゾーンの追加** をクリックします。
- 3 ドロップゾーンの名前を入力します。
- 4 (オプション) 新しいドロップゾーンの説明を入力します。
- 5 **保存** をクリックします。

## ドロップゾーンの検索

ドロップゾーンは名前や説明で検索できます。

- 1 **場所**タブで **ドロップゾーン**をクリックします。
- 2 次のいずれかまたは両方の操作を行います。
  - **名前**フィールドにドロップゾーンの名前を入力します。
  - **説明**フィールドにドロップゾーンの説明を入力します。

## ドロップゾーンの編集

既存のドロップゾーンの説明を編集できます。

- 1 **場所**タブで **ドロップゾーン**をクリックします。
- 2 編集アイコン (>Edit icon)
- 3 **説明**フィールドを編集します。
- 4 **保存**をクリックします。

## ドロップゾーンの削除

ドロップゾーンを削除できます。

- 1 **場所**タブで **ドロップゾーン**をクリックします。
- 2 削除アイコン (Delete icon)
- メモ：ドロップゾーンはジョブを含まない場合のみ削除できます。
- 3 **ドロップゾーンの削除**をクリックします。

## ホットフォルダータブ

Fiery JobFlow Pro アプリケーションの Hot Folders は、ホットフォルダーを含むワークフローにファイルを迅速かつ自動的に送信する方法を提供します。

## ホットフォルダーの追加

ワークフローの処理の一部としてホットフォルダーを追加できます。

- 1 **場所**タブで **ホットフォルダー**をクリックします。
- 2 **ホットフォルダーの追加**をクリックします。

- 3 ホットフォルダーの名前を入力します。
- 4 (オプション) 新しいホットフォルダーの説明を入力します。
- 5 **保存**をクリックします。

## ホットフォルダーの検索

ホットフォルダーは名前や場所、または説明で検索できます。

- 1 **場所**タブで**ホットフォルダー**をクリックします。
- 2 次のいずれかまたは複数の操作を行います。
  - **名前**フィールドにホットフォルダーの名前を入力します。
  - **場所**フィールドにホットフォルダーの場所を入力します。
  - **説明**フィールドにホットフォルダーの説明を入力します。

## ホットフォルダーを編集する

ホットフォルダーの説明は編集できます。

- 1 **場所**タブで**ホットフォルダー**をクリックします。
- 2 編集アイコン (✎) をクリックします。
- 3 **説明**フィールドを編集します。
- 4 **保存**をクリックします。

## ホットフォルダーを削除する

ホットフォルダーを削除できます。

- 1 **場所**タブで**ホットフォルダー**をクリックします。
  - 2 削除アイコン (trash) をクリックします。
- メモ**：ホットフォルダーは使用中でない場合にのみ削除可能です。
- 3 **ホットフォルダーの削除**をクリックします。

## Fiery サーバータブ

Fiery サーバーは、特定の Fiery サーバーのキューにジョブを送信するノードを設定することでワークフローに追加できます。サーバープリセットや Fiery JobExpert に含まれる事前定義の設定を適用します。

**メモ**：Fiery JobFlow Pro は、Windows ベースの Fiery サーバーおよび Linux ベースの Fiery サーバーで利用可能です。

- Windows ベースのサーバー：Fiery システムソフトウェア FS400 Pro 以降。
- Linux ベースの Fiery サーバー：Fiery システムソフトウェア FS400 以降（オプションの Automation Package が必要）。

## Fiery サーバーの追加

ワークフローの処理の一部として Fiery サーバーを追加できます。

- 1 **場所**タブで **Fiery サーバー**をクリックします。
- 2 **Fiery サーバー追加**をクリックします。
- 3 Fiery サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。
- 4 **保存**をクリックします。

## Fiery サーバーの検索

Fiery サーバーは IP アドレス、Fiery サーバー名、製品名、状況で検索できます。

- 1 **場所**タブで **Fiery サーバー**をクリックします。
- 2 次のいずれかまたは複数の操作を行います。
  - **IP** フィールドに Fiery サーバーの IP アドレスを入力します。
  - **名前** フィールドに Fiery サーバーの名前を入力します。
  - **製品** フィールドに Fiery サーバーの製品名を入力します。
  - **状況** フィールドにオンライン、オフラインなど Fiery サーバーの状況を入力します。

## Fiery サーバーの削除

Fiery サーバーを削除できます。

- 1 **場所**タブで **Fiery サーバー**をクリックします。
  - 2 削除アイコン (trash icon) をクリックします。
- メモ**：Fiery サーバーは使用中でない場合にのみ削除可能です。
- 3 **削除**をクリックします。

## サービスタブ

AI アシスタントサービスを使って、ジョブを表示および管理できます。

次の AI アシスタントサービスが利用可能です。

- **ChatGPT** - ChatGPT との統合により、印刷の自動化に会話型 AI が導入できます。Fiery JobFlow Pro や Fiery サーバーと自然言語で対話して、専門的なプログラミング知識がなくても自動化ワークフローの管理や作成、トラブルシューティングが可能です。ChatGPT の実装により、自動化ソリューションが提供され、トレーニング要件が削減され、トラブルシューティングや最適化のための AI 支援が可能になります。
- **Claude** - Claude との統合により、印刷の自動化に会話型 AI が導入できます。Fiery JobFlow Pro や Fiery サーバーと自然言語で対話して、専門的なプログラミング知識がなくても自動化ワークフローの管理や作成、トラブルシューティングが可能です。Claude の実装により、自動化ソリューションが提供され、トレーニング要件が削減され、トラブルシューティングや最適化のための AI 支援が可能になります。
- **MQTT** - MQTT サーバーは業界標準のメッセージングプロトコルを通じてワークフロー内のすべての Fiery JobFlow Pro ノードからリアルタイムの状況更新を受け取り、印刷生産環境におけるワークフローの可視性とシステム管理を向上させます。MQTT サーバーとの統合により、お客様は印刷生産プロセスを効率的に管理し監視できるようになります。

### ChatGPT サービスの追加

Fiery JobFlow Pro は、データと使用状況に対する完全な制御を保持しながら、ChatGPT AI を活用した機能を使用します。

**メモ**：アプリケーションで ChatGPT サービスを使用するには、事前に購入した API キーが必要です。

**Claude** をサービスとしてワークフローに追加できます。

- 1 サービスタブで、ChatGPT の**サービスの追加**をクリックします。
- 2 OpenAI API キーを入力します。
- 3 **追加**をクリックします。

### Claude サービスの追加

Fiery JobFlow Pro は、データと使用状況に対する完全な制御を保持しながら、Claude AI を活用した機能を使用します。

**メモ**：アプリケーションで Claude サービスを使用するには、事前に購入した API キーが必要です。

**Claude** をサービスとしてワークフローに追加できます。

- 1 サービスタブで、Claude の**サービスの追加**をクリックします。
- 2 API キーを入力します。
- 3 **追加**をクリックします。

## MQTT サービスの追加

Fiery JobFlow Pro は、MQTT を使用して IoT デバイス向けのリアルタイムメッセージングを有効にします。

**MQTT** をサービスとしてワークフローに追加できます。

- 1 サービスタブで、MQTT の**サービスの追加**をクリックします。
- 2 MQTT Broker URL を入力します。
- 3 (オプション) 必要な場合トグルボタンをクリックし、ユーザー名とパスワードを入力してください。
- 4 **追加**をクリックします。

## 設定タブ

**設定**タブで Fiery JobFlow Pro アプリケーションの設定をカスタマイズできます。

**設定**タブではジョブ設定、希望言語、Fiery JobFlow Pro のバックアップや復元を管理できます。

**設定**タブには、Fiery JobFlow Pro サイドバーの右上のプロファイルアイコンからアクセスできます。

## Fiery JobFlow Pro パスワードの変更

インストール後、Fiery JobFlow Pro のパスワードを変更できます。このパスワードは Fiery JobFlow Pro Editor でも使用され、いつでも再度変更できます。

- 1 **設定**タブで、**パスワードの変更**をクリックします。
  - 2 現在のパスワードを入力します。
  - 3 新しいパスワードを入力します。
- メモ**：新しいパスワードフィールドでは、英数字および特殊文字が使用可能で、最大 20 文字です。
- 4 パスワードをもう一度入力して確認します。
  - 5 **パスワードのアップデート**をクリックします。

## ワークスペースからジョブを削除する

**ジョブの削除**オプションを使用して、Fiery JobFlow Pro ワークスペースから完了したジョブ、失敗したジョブ、キューに入っているジョブなどを削除できます。

- 1 **設定**タブで、**削除**をクリックします。

**メモ**：現在処理中のジョブがある場合は、削除前にすべてのアクティブなジョブの印刷が終了していることを確認してください。

- 2 **削除**をクリックします。

## Fiery JobFlow Pro Editor の再起動

Fiery JobFlow Pro Editor を再起動できます。

- 1 **設定**タブで、**再起動**をクリックします。
- 2 **再起動**をクリックします。

## Fiery JobFlow Pro データのバックアップと復元

Fiery JobFlow Pro を使用して、作成したワークフローやアカウント設定のバックアップおよび復元が可能です。

- **設定**タブで、次のいずれかを選択します。
  - **バックアップ**をクリックして、JobFlow Pro Editor ワークフロー、サードパーティノード、JobFlow Pro Manager データをバックアップします。
  - **復元**をクリックして、バックアップしたデータを.zip ファイルから復元します。

# JobFlow Pro Editor を使ってワークフローを作成する

JobFlow Pro Editor を使用してワークフローを作成できます。

JobFlow Pro Editor は、ジョブ処理を自動化するために使用できるビジュアルベースのワークフロー エディターです。

## Fiery JobFlow Pro Editor の再起動

Fiery JobFlow Pro Editor を再起動できます。

- 1 設定タブで、**再起動**をクリックします。
- 2 **再起動**をクリックします。

## JobFlow Pro Editor を開く

JobFlow Pro Editor を開いてワークフローを作成し、展開できます。

始める前に、JobFlow Pro Manager のワークスペースにサインインしている必要があります。アクティベート済みのライセンスコードが必要です。

- 1 フロー タブで、次のいずれかを選択します。
  - 新しいワークフローを作成するには**フローの作成**をクリックします。
  - 既存のワークフローを編集するには**フローの編集**をクリックします。ブラウザーに新しいタブが開きます。
- 2 ユーザー名とパスワードを入力してください。
- 3 **ログイン**をクリックします。

## JobFlow Pro Editor のワークスペース

JobFlow Pro Editor のワークスペースではワークフローを作成できます。

JobFlow Pro Editor には以下の領域が含まれています。

- パレット - 利用可能なワークフロー用ノードを一覧表示します。 **フィルターノード** フィールドに入力することで、ノードをフィルタリングできます。また、**すべてのカテゴリーを閉じる**または**すべてのカテゴリーを開く**をクリックして、ノードカテゴリーの折りたたみや展開も可能です。
- ワークスペース - 新しいワークフローを作成したり、既存のワークフローを編集したりできます。
  - ワークフロータブ - 作成したワークフローの名前を表示します。矢印を使って利用可能なタブをスクロールし、新しいワークフローを追加できます。
  - ツール表示 - ワークスペースを拡大、縮小します。また、**ナビゲーターをトグル**をクリックすると、ワークスペース全体の概要を表示できます。
- サイドバー - ワークフローノードの詳細を調査できます。
  - **情報**タブ - ワークスペースやノード固有の情報を提供します。
  - **ヘルプ**タブ - 選択したノードの概要を提供します。
  - **デバッグ**タブ - デバッグ情報を表示します。
  - **設定**タブ - スコープ順に整理された設定ノードのリストを表示します。

## ワークフローを作成

ノードを使って Fiery JobFlow Pro で使用するワークフローを作成できます。

- 1 ワークフローを追加するには、**フロー追加**アイコン (+) をクリックします。
- 2 ノードをパレットからワークフローにドラッグします。
- 3 (オプション) 必要に応じてノードを設定します。
- 4 ワイヤーを追加してこれらのノードを接続します。
- 5 (オプション) ワークフローを共有する準備ができたら、展開モードを選択します。

## JobFlow Pro Editor のノード

JobFlow Pro Editor 内のノードをワークスペースにドラッグしてワークフローを作成できます。

ワークフローで選択して使用できるノードの一部は、インストールされているサービスによって異なります。

次の表に JobFlow Pro Editor で利用可能なノードのリストを示します。

ノードのカテゴリー	ノード	説明
jobflow location	<b>location-dropzone</b>	指定されたドロップゾーンフォルダーを継続的に監視し、新しいファイルが入ると処理してからワークフローの次のノードに進みます。
	<b>location-hotfolder</b>	指定されたホットフォルダーを監視し、新しいファイルを自動で処理します。
jobflow common	<b>flow-end</b>	ワークフローを終了します。
	<b>jobflow-debug</b>	選択されたデバッグメッセージの出力を msg.jobflow、msg.jobflow.properties.assistant、full msg objectdebug に表示します。
	<b>helper-group</b>	受信メッセージを収集し、設定されたグループ化プロパティに基づいてグループ化し、指定されたプロパティに基づいてメッセージを昇順または降順にソートします。
jobflow convert	<b>convert-images</b>	画像ファイルを PDF 形式に変換します。
	<b>convert-markdown</b>	マークダウンコンテンツを PDF 形式に変換し、用紙のサイズや向きを設定できます。 <b>メモ:</b> convert-markdown ノードを使用するには、Google Chrome がインストールされている必要があります。
	<b>convert-office</b>	Microsoft Office のドキュメントを PDF 形式に変換します。 <b>メモ:</b> convert-office ノードは LibreOffice v25.x 以降をサポートしています。
jobflow explain	<b>explain-content</b>	ChatGPT または Claude の生成 AI モデルを使って、PDF ファイルからメタデータを抽出し、PDF の内容の包括的な分析を提供します。
	<b>explain-report</b>	PDF 検証結果を分析し、生成 AI モデルを用いて PDF プリフライトレポートの結果をわかりやすい言語で説明します。

ノードのカテゴリー	ノード	説明
jobflow fiery	<b>fiery-info</b>	<p>Fiery サーバーに接続し、選択したオプションに基づいてサーバーに関する情報を取得します。</p> <p><b>メモ:</b>fiery-info ノードの応答はジョブ概要ページには表示されません。</p>
	<b>fiery-job</b>	Fiery サーバーに接続し、提供された Fiery ジョブ ID に基づいて特定の Fiery ジョブのジョブ関連プロパティを取得します。
	<b>fiery-monitor</b>	Fiery サーバーに接続し、状況更新やジョブイベントを監視します。
	<b>fiery-submit</b>	Fiery サーバーの選択したキューに印刷ジョブを送信し、正常に送信されるとジョブ ID が返されます。
	<b>fiery-update</b>	Fiery サーバー上で印刷ジョブの印刷、ホールド、キャンセル、複製などの変更を行います。
	<b>fiery-impose</b>	<p>Fiery サーバーで処理される印刷ジョブにあらかじめ定義されたテンプレートを適用します。</p> <p>次の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• fiery-impose ノードを使用するには Fiery Impose ライセンスが必要です。</li> <li>• fiery-impose ノードは Fiery Command WorkStation 7.1 以降でサポートされています。</li> </ul>
jobflow pages	<b>pages-combine</b>	複数の PDF ファイルを 1 つの PDF ドキュメントにまとめます。
	<b>pages-split</b>	<p>選択した分割モードと指定されたページ数に基づいて PDF ファイルを分割します。</p> <p>分割モードが <b>n ページごと</b> の場合、PDF ファイルは指定したページ数を含むセクションに分割されます。</p> <p>分割モードが <b>ページ範囲後</b> の場合、PDF ファイルは指定したページ数の後でセクションに分割されます。</p>
	<b>toolbox-profile</b>	選択された品質プロファイルに基づいて PDF ファイルを検証し処理します。

ノードのカテゴリー	ノード	説明
	<b>toolbox-quickfix</b>	quickfix JSON 設定に基づいて PDF ファイルを処理します。
<b>jobflow sense</b>	<b>sense-preset</b>	ドキュメント要件に基づいて各印刷ジョブに適切な Fiery プリセットを自動適用し、印刷エラーを減らして手動選択の必要性を排除します。
	<b>sense-link</b>	ドキュメント要件に基づいて印刷ジョブを適切な宛先に自動ルーティングし、手動の仕分け処理を不要にします。
	<b>sense-link-target</b>	内容や要件に基づいて AI ルーティングされた印刷ジョブ用の名前付き宛先を作成します。

## ワークフローの展開

ワークフローを作成した後、Fiery JobFlow Pro アプリケーションで使用するために展開する方法を選択できます。

ロックされている（ロックアイコンで表示）ワークフローは展開されません。

**1** JobFlow Pro Editor のワークスペースを開きます。

**2 展開**をクリックして、以下のいずれかを選択してください。

- フル** - JobFlow Pro Editor のワークスペースにすべてのワークフローを展開します。
- 変更されたフロー** - 変更または修正されたノードを含むワークフローを展開します。
- 変更されたノード** - 変更されたノードを展開します。
- ノードを停止** - 展開されているノードを停止します。
- ノードを再起動** - 展開されているノードを再起動します。

## ワークフローの削除

JobFlow Pro Editor のワークスペースでワークフローを削除できます。

ロックされていないワークフローのみ削除できます。

**1** ワークフロータブを右クリックします。

**2 削除**を選択します。

# Fiery JobFlow Pro のトラブルシューティング

Fiery JobFlow Pro の使用中に発生した問題をトラブルシューティングできます。

より詳細な情報やサポートが必要な場合、登録ユーザーは [Fiery Communities](#) で質問できます。